

平成20年度後学期 学生による授業評価アンケート調査（最終）

「アンケート結果に応じて」

所属部局	人文学部		氏名	酒井英行	
講義コード	2331059010		講義名	日本言語文化基礎講読 I	
開講曜日	金曜日	5・6限	専門科目		
授業回数	14回	休講回数	0回	補講回数	0回
			受講登録者数	78	人
成績評価に際し注意した事項					
<p>授業にきちんと出席し、真面目に講義内容を聞いていた学生に、良い成績がつくように留意した。</p>					
報告内容					
<p>指定したテキストに載っている芥川龍之介の作品を多く扱うことをやめて、「或阿呆の一生」、「河童」、「歯車」の3作品に絞って講義したので、ゆっくり、丁寧に説明するゆとりが持てたと思います。そのためかと思いますが、「自由記述欄」に、「先生が丁寧に説明して、黒板にきちんと分かりやすく書いてくれるところがよかった」、「教材の参考にするページを細かく指定してくれたので分かりやすかった」などを書いてくれた学生がいて、「ゆっくり、丁寧に」という私のやり方の効果はある程度あったと思われます。そして、テストの形式、やり方、プリントの使い方についても、「自由記述欄」で良い評価を書いてくれた学生がいました。</p> <p>「教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていましたか。」、「授業の進度は適切でしたか。」、「教員は学生に対して公平に接していましたか。」、「授業にはシラバス等で示された内容が反映されていましたか。」、「授業内容の難易度は妥当なものでしたか。」、「この授業を受けて、新しい知識や考え方、技術が身に付きましたか。」「総合的に判断して、この授業で満足が得られましたか。」、「この授業を他の学生や後輩に推薦したいと思いますか。」などの設問において、高い評価をいただきました。最初の5つの設問事項のことは、この講義をするとき、そのようにしようとかかなり努力したことでしたので、そのことを高く評価していただいたことは嬉しいです。</p> <p>そうしたなかで、「板書があちこちとんでいたので少し見にくかった」というような「自由記述」があるように、板書については、あまり良い評価は得られなかった。丁寧に、見やすく書くことは、もっと努力したいと思います。ただ、言い訳をさせていただくと、授業内容を分かりやすくする補助として、板書を出来るかぎり多くしようとして、どうしても急いで書くために、見にくくなる、という点は少し理解してほしいと思います。</p>					

